

NPO 法人マリンネットワーク

2021 年度 総会資料

日時 2021 年 5 月 29 日（土）14:30～14:50

会場 NPO 法人マリンネットワーク

NPO法人 マリンネットワーク

2021 年度総会 次第

日時 2021 年 5 月 29 日（土）14:30～14:50

場所 NPO 法人マリンネットワーク

- 1 開 会
- 2 総会定足数報告
- 3 議長選出
- 4 総会
 - 1) 総会開会宣言
 - 2) 議事録署名者選任
 - 3) 議案審議
 - 第 1 号議案 2020 年度事業報告について
 - 第 2 号議案 2020 年度収支決算報告並びに監査報告について
 - 第 3 号議案 2021 年度事業計画(案)について
 - 第 4 号議案 2021 年度収支予算(案)について
 - 4) 総会閉会宣言
- 5 閉 会

第1号議案

2020年度 事業報告

■NPO 法人マリネットワーク 2020年度 総会・講演会・交流会

1. 2020年度 NPO 法人マリネットワーク総会報告

日時：2020年5月23日 14:00～14:30

開催場所：NPO 法人マリネットワーク

出席者数 3名

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点および皆様の健康・安全面を考慮し、役員など3名のみで総会のみ開催しました。

正会員数総数101名（個人75、法人26）のうち、当日出席3名、メールやFAXによる表決委任者59名の合わせて62名となり、正会員数の1/2以上の出席をいただいたので、総会が成立しました。

片石理事長が議長に選出され5つの議案について審議をしたところ、原案通り異議なく可決されました。

法人設立当初から監事を務めてくださった吉水守監事が退任され、新たに小室裕一監事が就任いたしました。2020年度からの役員体制は、以下の通りです。

理事長：片石温美

副理事長：渡部靖憲、高谷大喜

理事：遠藤仁彦、折谷久美子、藤井賢彦、笹島隆彦、近藤将基

監事：高須賀茂之、小室裕一

顧問：渡辺好明、佐伯浩、森利男

■ 漁村地域とそれ以外との交流促進事業

第17回 マリンナレッジオンラインサークル(オンライン漁村勉強会) ～コロナ禍と漁業と水産物流通～

【日時】 2021年1月30日(土) 14:30～16:30

【開催】 オンライン開催 (Webex Meeting を利用)

14:35～15:30 「届ける広報」(質疑10分含む)

講師：水産庁漁政部漁政課広報班 課長補佐 溝部倫之様

15:30～16:15 会員地域から話題提供

話題1：苫小牧漁業協同組合 専務理事 尾本英二様

話題2：南かやべ漁協大船支所, NPO 法人マリンネットワーク副理事長
高谷大喜様

話題3：歯舞漁業協同組合 参事 中村直樹様 総務部長 伊藤司様

各講師からの報告は、マリンネットワーク HP にて公開しております。

■情報収集及び調査研究

以下の通り、博多港、糸島市船越地区の視察を行いました。

1. 概要と目的

(1)日程

2020年12月1日～3日

(2)視察場所

12月1日 博多港中央ふ頭 「中央ふ頭クルーズセンター」「西側岸壁」
「博多港国際ターミナル」
同 博多ふ頭 「博多ふ頭第2ターミナル」
「博多ポートタワー・ベイサイドプレイス博多」
博多市内で理事打ち合わせ

12月2日 福岡県糸島市 船越漁港「カキ小屋」
同 JF糸島 物産直売所「志摩の四季」

(3)目的

国内有数のクルーズ船寄港実績がある九州の港湾のうち、特に博多港は国内のクルーズ船寄港数が全国2位（令和1年）である。北海道では函館で旅客船ふ頭が供用されるなど、コロナ後にはクルーズ船寄港の活性化が期待されていることから、博多港中央ふ頭に整備されたCIQ等を有する旅客船ターミナル施設「中央ふ頭クルーズセンター」をはじめ、300mの延長を有する「西側岸壁」、ブサンの国際定期フェリー、高速船の発着場である「博多港国際ターミナル」の視察を行い、施設の機能や利用実態を勉強させていただくことにした。

また博多ふ頭には、離島航路の発着場である「博多ふ頭第2ターミナル」と、隣接する商業施設「博多ポートタワー・ベイサイドプレイス博多」が整備されており、あわせて視察を行った。

さらに、2019年5月の講演会に講師としてお招きした糸島漁業協同組合吉村参事がご紹介くださった「カキ小屋」とJF糸島物産直売所「志摩の四季」を訪問し、漁港を中心とした販わい創出や、漁協直営の直売場の視察を行った。

(4)参加者

NPO 法人マリンネットワーク
理事長 片石温美、理事 折谷久美子
国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所
所長 濱口信彦様
企画調整課 課長 名里健吾様、係長 提箸真弘様
福岡市港湾空港局
港湾計画部 計画課 谷下亮二様

博多港ご視察箇所(令和2年12月1日)

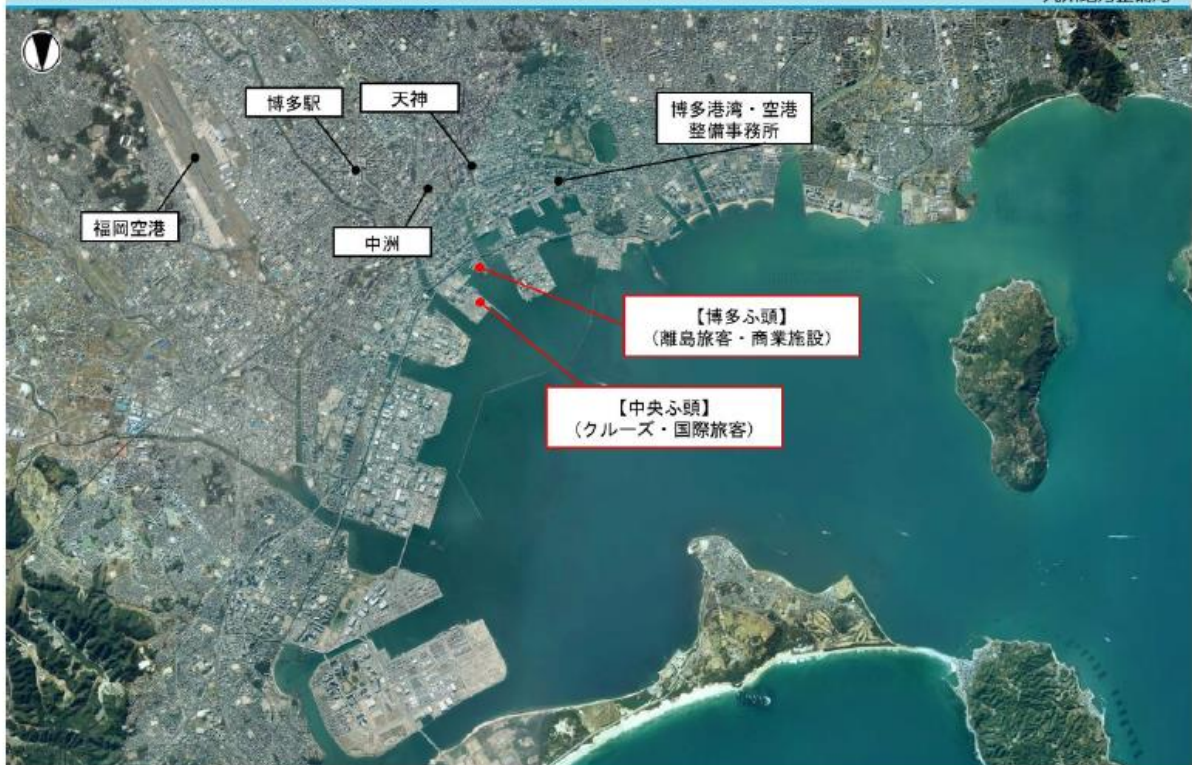


図 博多港視察箇所



図 糸島市と糸島漁協位置図

2. 内容

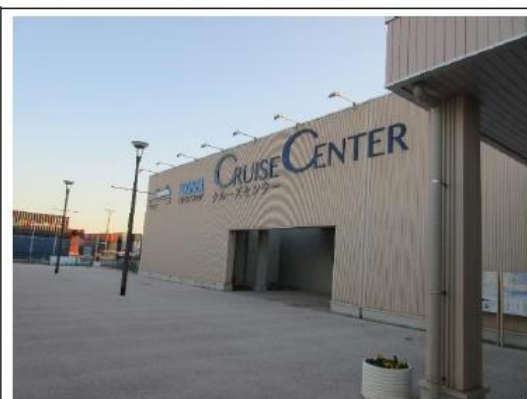
(1) 博多港中央ふ頭「中央ふ頭クルーズセンター」「西側岸壁」「博多港国際ターミナル」

施設概要

名称	中央ふ頭クルーズセンター	西側岸壁	博多港国際ターミナル
整備内容	旅客船ターミナル施設	岸壁(-10m) 延長 330m	3階建(延べ床 13,280 m ²)
施設規模	CIQ 棟(1,500 m ²)、待合棟(1,300 m ²)	22万トン級クルーズ船(全長 362m)の受け入れ可能	飲食施設、免税店、会議室など
供用時期	2015年5月	2018年	1993年

①中央ふ頭クルーズセンター

クルーズ旅客の利便性向上のため整備が進められ、2015年に供用開始した施設。もともと国際線ターミナルで出入国手続きを行っていたため、スペース不足による混雑が発生し、時間もかかっていた。クルーズセンターに入国審査手続き(CIQ)棟が整備されたことにより、入国審査手続きにかかる時間短縮が図られ、利用者の観光時間が約1時間増加した。2017年にはクルーズセンター利用者が100万人を達成した。クルーズ客の多くは、オプションバスツアーで福岡近郊の観光地へ旅行する機会が多いため、市内の滞留を増やすことが課題とのことであった。今回の視察では、コロナ禍のためセンターが稼働していないことから施設内の見学が可能になった。



中央ふ頭クルーズセンター(正面)



手荷物検査と金属探知機



出入国手続きカウンター



外貨両替機(左)と金属探知機(右)

②西側岸壁

もともと中央ふ頭では、岸壁(-9m)延長220mには国際定期フェリーが接岸し、岸壁(-10m)延長270mには、最大13万トン級(延長311m)のクルーズ船まで対応していた。クルーズ船の寄港数の増加と船の大型化に対応するため、ふ頭西側にジャケット式の岸壁(-10m)延長330mを整備することになった。2018年には供用開始し、22万トン級クルーズ船(全長362m)の受け入れが可能となった。岸壁上には、クルーズ船の乗降口に合わせて可動するエプロンルーフ(最大200mまで延長)が設置されている。

図は西側岸壁完成後に2隻のクルーズ船と国際定期フェリーが同時に着岸した時の写真。現在、コロナ禍によりクルーズ船寄港は見通しが無い。

中央ふ頭地区 西側岸壁(ジャケット)の完成後(2隻同時着岸)



資料：国土交通省九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所

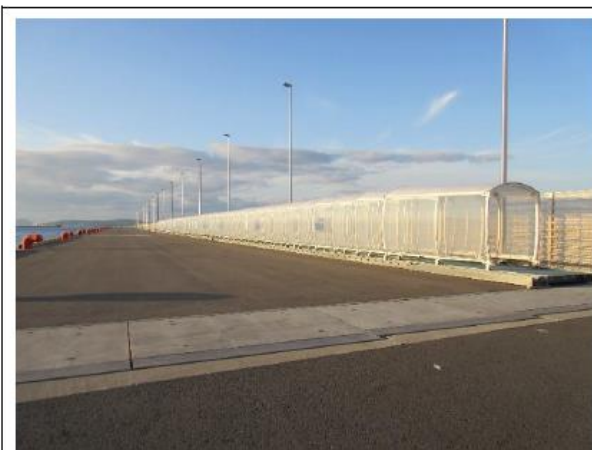
図 西側岸壁完成後のクルーズ船2隻同時着岸状況



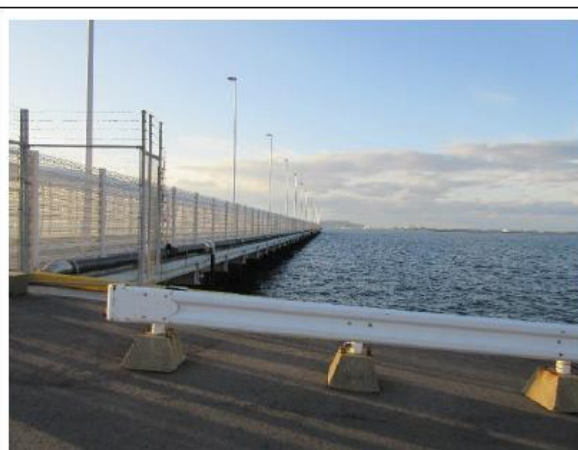
博多港湾・空港整備事務所 所長 濱口様によるクルーズセンターの説明



福岡市港湾空港局 谷下様による西側岸壁やクルーズセンターの説明



西側岸壁と乗客用エプロンルーフ



西側岸壁(裏側)

③博多港国際ターミナル

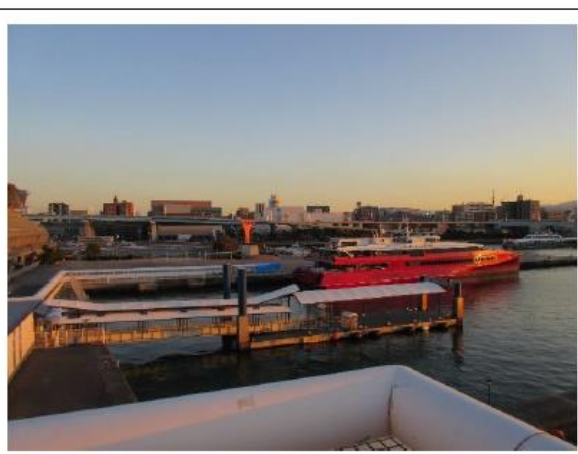
韓国(釜山)との国際定期フェリーや高速船をはじめとした国際旅客が利用し、クルーズ船乗降客数と合わせると、博多港は国際乗降客数が全国1位である。

コロナ禍以前は、国際定期便「ニューかめりあ」(カメラライン、7便/週)、「ビートル」(JR九州高速船、2~3往復/週)の就航であったが、コロナ禍以降はカメララインにて貨物輸送のみ行われている。

JR九州高速船は、今年11月には新造高速船「クイーンビートル」が加わり2隻体制の運行予定だったが、コロナ後の再開は「クイーンビートル」1隻体制で運行するとされている。



国際ターミナル正面入り口とバス乗降所



停泊するクイーンビートル

	
ターミナル内の運行会社カウンター（カメラアライン）	ターミナル内の運行会社カウンター（JR）

(2)博多港博多ふ頭「博多ふ頭第2ターミナル」、「博多ポートタワー・ベイサイドプレイス博多」

施設概要

名称	博多ふ頭第2ターミナル	博多ポートタワー・ベイサイドプレイス博多
整備内容 施設規模	主に国内離島航路が就航する。延べ3,620㎡のターミナル施設	博多ポートタワーは1964年竣工。入場無料（現在休館中） ベイサイドプレイス博多は1991年オープン。

①博多ふ頭第2ターミナル

下図は定期航路の状況を示す。コロナ禍以前は、年間115万人が利用していた。

離島は、壱岐、対馬、五島へ就航している。

⑤壱岐（芦辺・郷ノ浦）・対馬（厳原）航路：フェリーちくし・フェリーきずな 他
日3～5便（所要時間4時間30分、九州郵船）

⑤対馬（比田勝）航路：フェリーげんかい、日1便（所要時間5時間50分、九州郵船）

⑥五島（宇久・小値賀・青方・奈留・福江）航路：太古、日1便（所要時間8時間30分、野母商船）

その他

①西戸崎・志賀島行き渡船：日30便、福岡市営渡船

①玄海島：日14便、福岡市営渡船

④マリンワールド海の中道：平日8便、土日祝14便、うみなかライン

③博多湾クルーズ：マリエラ、2021年1月運行終了

博多ふ頭の離島定期航路

① 福岡市営渡船

- ◆ 西戸崎・志賀島行き
1日30便(15往復)
(西戸崎)大人450円
(志賀島)大人680円
- ◆ 玄界島行き
1日14便(7往復)
大人870円



⑤ 壱岐・対馬(フェリー)

- 1日6便(3往復)
- ※壱岐(芦辺・郷ノ浦)・対馬(厳原)
- 1日2便(1往復)
- ※対馬(比田橋)
- (壱岐) 大人2,270円
- (厳原) 大人4,190円
- (比田橋) 大人5,030円



⑥ 五島(フェリー)

- 1日1便(五島各港)
- (1往復) 大人4,930円



② 壱岐・対馬(ジェットフォイル)

- 1日4便(8往復) **フォイル**
- (壱岐) 大人4,620円
- (厳原) 大人7,250円
- (比田橋) 大人9,090円



③ 博多湾クルージング

- マリエラ** 2021年1月運行終了
- ◆ プティクルーズ(45分)
乗船のみ 大人1,600円 小人800円
- ◆ ランチクルーズ(100分)
5,500円(ビュッフェ)
～20,000円(コース)
- ◆ ディナークルーズ(130分)
7,200円(ビュッフェ)
～20,000円(コース)



④ マリンワールド海の中道 うみなかライン

- ◆ ダイヤ: 平日1日8便(4往復)
土日祝1日14便(8往復)
- ◆ 運賃: 大人1,100円
小人550円

資料: 国土交通省九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所

図 博多ふ頭第2ターミナルの就航状況

②壱岐・対馬(ジェットフォイル)について、コロナ禍以前はJR九州高速船(博多～釜山)「ピートル」の2階を九州郵船が国内線用に使用し、博多～対馬～釜山の国際線と国内線の乗客が同一船舶に混在する混乗便として運航していたが、コロナ禍の現在は博多～壱岐・対馬のみ九州郵船によって運行している。



⑤⑥ フェリー乗船受付カウンター



⑤⑥ フェリー乗船待合室



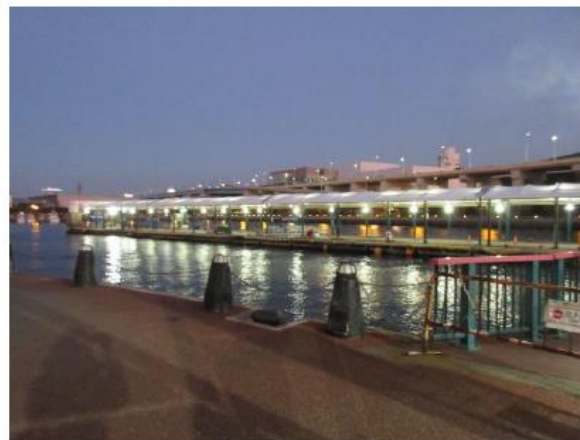
⑤⑥フェリーの貨物、車輛乗降口



①~④切符売り場(ベイサイドプレイス博多内)



①~④、ジェットフォイルの乗降口



①~④、ジェットフォイルの着岸棧橋



ベイサイドプレイス博多とポートタワー



<http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/guide/ferry/index.html>
博多ふ頭施設配置図(博多港 HP より)

(3) 福岡県糸島市 船越漁港「カキ小屋」、 JF 糸島 物産直売所「志摩の四季」

①船越漁港「カキ小屋」

糸島漁協は福岡市から車で30分の位置にある。組合員数395人、販売取扱額約22億円、取扱量約3,000トン(2018年)で、主な水揚げ魚種は真鯛、サワラ、マガキ、ハマグリ、カワハギ、ヒラメ、イカ類など。天然真鯛は日本一の漁獲量を誇る。

地域一体となった取組みが2018年浜プラン優良事例表彰で農林水産大臣賞を受賞している。

具体的には、魚価アップの取組み(マダイ、サワラ)、消費拡大の取組み(魚食普及、PR活動)、資源管理の取組み(藻場保全、休漁、密漁監視)などであるが、注目するのは、2001年から冬の収入源確保のためカキ養殖を導入し、カキ小屋で直接販売を開始したことである。管内4漁港で27店舗(2018年)。カキ小屋来場数は2013年の26万人から2018年は53万人と5年で倍増した。市や酒造メーカー、交通産業など異業種と連携しPR、集客に取り組むとともに、九州大学伊都キャンパスとの連携も効果を上げている。



②JF 糸島志摩の四季

糸島漁協では、糸島市観光協会と協力し2007年「JF 糸島志摩の四季」という直売所を開設した。志摩の四季では直売に加え、イベントなどを通じて地元産水産物のPRも行い、2013年度は集客が39万9千人、販売額が5億8千万円だった、2017年度には、集客が42万5千人、販売額が約6億5千万円と伸びている。直売所で販売することで、組合員の経営安定、漁協経営の安定にも寄与している。糸島地区には、他に「福ふくの里」、「伊都菜彩」(JA 糸島)があり、業務連携を行い3店舗あわせた売上高は約53億円に上る。



JF 糸島志摩の四季入口



陳列された水産物

3. おわりに

今回、博多港の視察では、国土交通省九州地方整備局 遠藤副局長、博多港湾・空港整備事務所の濱口所長、同企画調整課 名里課長、提箸係長、福岡市港湾空港局港湾計画部計画課 谷下様には大変お世話になりました。大変お忙しい中、ご準備、随行くださりありがとうございました。

糸島視察のきっかけは、糸島漁協参事の吉村様に 2019 年の NPO 法人マリネットネットワーク総会・講演会でご講演いただいたことでした。浜プラン農林水産大臣賞を受賞されている地域を見て感じたことは、活動を継続すること、異業種と連携すること、地域とのつながりを大切にする事、組合員の生活の安定を考えることなど、重要なポイントが理解できました。

第2号議案

2020年度 NPO 法人に関わる収支決算書

会計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

NPO 法人マリンネットワーク

単位：円

科 目	科 目	2020年度予算	2020年度決算	備考
1. 収入の部		959,010	735,008	
1. 会費収入		779,000	735,000	
	個人会員	279,000	255,000	正71人、賛21人(R3.3.31現在)
	法人会員	500,000	480,000	正45口、賛3口(R3.3.31現在)
2. 事業収入		160,000	0	
	漁村地域とそれ以外との交流促進事業	10,000	0	ナレッジサークル参加費
	持続可能な漁村地域づくりに係る事業	10,000	0	
	漁村地域の担い手支援に係る事業	10,000	0	
	情報収集及び調査研究	10,000	0	
	その他	120,000	0	講演会
3. 預貯金利子		10	8	
4. 寄付金等収		10,000	0	
5. 補助金等収		10,000	0	
6. 雑収入		0		
2. 支出の部		934,000	284,776	
1. 事業費		710,000	86,200	
	①漁村地域とそれ以外との交流促進事業	250,000	5,350	マリナレ
	②持続可能な漁村地域づくりに係る事業	200,000	0	
	③漁村地域の担い手支援に係る事業	10,000	0	
	④情報収集及び調査研究	50,000	80,850	
	⑤その他	200,000	0	講演会、総会は一部役員のみで実施
2. 一般管理費		224,000	198,576	
	給料手当	0	0	
	消耗品	50,000	9,680	
	通信費	20,000	24,924	
	外注費	20,000	0	
	新聞図書費	70,000	68,688	
	会議費	10,000	0	
	交際費	0	30,790	
	旅費交通費	50,000	63,704	
	租税公課	2,000	0	
	支払手数料	2,000	440	
	その他	0	350	
当期収支差額		25,010	450,232	
前期繰越金		1,325,724	1,325,724	
当期資産合計		1,350,734	1,775,956	

監査報告

監 査 報 告 書

2021年5月19日

NPO 法人マリンネットワーク
理事長 片石 温美 殿

NPO 法人マリンネットワーク
監事 高須賀 茂之
小室 裕一



私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度における会計の監査を行いました。

諸帳簿、収支決算書、預金通帳および関係書類に基づき監査した結果、その内容が適正かつ経理事務が正確であることを証明します。

第3号議案

2021年度事業計画（案）

■漁村地域とそれ以外との交流促進事業

(1) 2021年度NPO法人マリンネットワーク総会・講演会

日時：2021年5月29日（土）

総会：14:30～14:50（役員など数名のみで開催）

会場：NPO法人マリンネットワーク

講演会：15:00～16:00（オンライン併用）

「仮）漁港漁場漁村をめぐる情勢」

株式会社センク 21 執行役員 浅川典敬様（前水産庁漁港漁場整備部整備課長）

※講演会は延期になりました

(2) マリナレッジサークル（漁村勉強会） 札幌で開催予定（オンライン併用）

■持続可能な漁村地域づくりに関する事業

- ・消費者と生産者の交流など、地域と協働で実施
- ・会員の活動や技術紹介

■漁村地域の担い手支援に係る事業

- ・マリナレッジサークル(漁村勉強会)開催 漁村で開催（漁業者、研究者、民間企業、行政等の多様な人たちが集まり、地域の課題や様々な対策等についての意見交換）

■情報収集及び調査研究

- ・調査研究業務など
- ・事業の公募など

第4号議案

2021年度 NPO法人活動に係わる収支予算計画書(案)

会計期間：2021年4月1日～2022年3月31日

NPO法人マリンネットワーク

単位：円

科目	科目	前年度実績	2021年度予算	備考
1. 収入の部		735,008	965,008	
1. 会費収入		735,000	735,000	
	個人会員	255,000	255,000	正71人、賛21人(R3.3.31現在)
	法人会員	480,000	480,000	正45口、賛3口(R3.3.31現在)
2. 事業収入		0	210,000	
	漁村地域とそれ以外との交流促進事業	0	10,000	ナレツジサークル参加費
	持続可能な漁村地域づくりに係る事業	0	10,000	
	漁村地域の担い手支援に係る事業	0	10,000	
	情報収集及び調査研究	0	180,000	MV期成会報告書
	その他	0	0	講演会
3. 預貯金利子		8	8	
4. 寄付金等収		0	10,000	
5. 補助金等収		0	10,000	
6. 雑収入				
2. 支出の部		284,776	644,000	
1. 事業費		86,200	410,000	
	①漁村地域とそれ以外との交流促進事業	5,350	100,000	マリナレ
	②持続可能な漁村地域づくりに係る事業	0	100,000	
	③漁村地域の担い手支援に係る事業	0	10,000	
	④情報収集及び調査研究	80,850	100,000	
	⑤その他	0	100,000	講演会、総会の一部役員のみで実施
2. 一般管理費		198,576	234,000	
	給料手当	0	10,000	
	消耗品	9,680	50,000	
	通信費	24,924	20,000	
	外注費	0	20,000	
	新聞図書費	68,688	70,000	
	会議費	0	10,000	
	交際費	30,790	0	
	旅費交通費	63,704	50,000	
	租税公課	0	2,000	
	支払手数料	440	2,000	
	その他	350	0	
当期収支差額		450,232	321,008	
前期繰越金		1,325,724	1,775,956	
当期資産合計		1,775,956	2,096,964	